日米セキュリティ・法執行機関対話
(Japan-U.S. Security and Law Enforcement Dialogue)プレスリリース

日本政府及び駐日米国大使館は、初開催となる日米セキュリティ・法執行機関対話（Japan-U.S. Security and Law Enforcement Dialogue(「ＳＬＥＤ」))を成功裏に締めくくりました

日本政府及び駐日米国大使館は、2026 年 11 月２日、東京において、第１回日米セキュリティ・法執行対話（ＳＬＥＤ）を開催しました。日本側は楠芳伸警察庁長官を筆頭に警察庁が、米国側はジョージ・Ｅ・グラス駐日米国大使を筆頭に駐日米国大使館が、それぞれリードしました。日本代表団には警察庁及び外務省の参加者が、米国代表団には駐日米国大使館の法執行ワーキング・グループから、外交保安部（ＲＳＯ)、連邦捜査局（ＦＢＩ)、麻薬取締局（ＤＥＡ)、国土安全保障省（ＤＨＳ)、米国税関・国境警備局（ＣＢＰ)、米国海岸警備隊、政治部及び領事部の参加者が、それぞれ含まれます。

日本政府及び駐日米国大使館は、第１回対話の議題である以下のテーマについて議論を行い、双方の安全･法執行協力を強化するという共通のコミットメントを再確認しました。

- デジタル・フォレンジック
- 法執行機関における先端技術の導入
- 警護上のインテリジェンス

日本政府及び駐日米国大使館は、安全・法執行活動、捜査協力、情報共有に関して引き続き緊密に連携することにコミットし、第１回対話で特定された優先事項を推進するため、こうした対話を継続的に開催することで合意しました。



※写真：駐日米国大使館提供